

議会 だより

鳴門市
NARUTO CITY

目次

第3回定例会の主な審査状況	②
第3回定例会の提出議案と議決結果	③
特別委員会の審査概要、結果報告	④
討論と記名投票	⑤
委員会審査から	⑥
平成24年度決算の審査	⑦～⑨
一般質問	⑩～⑮
議会活動、第4回定例会日程	⑰

発行／鳴門市議会

☎772-8501

徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜170番地

☎088-684-1234 ☎088-684-0814

✉gikai@city.naruto.lg.jp

編集／議会広報委員会

発刊／2013年(平成25年)12月1日

<http://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/>

【写真】10月6日、スポーツや憩いの場として市民に親しまれているウチノ海総合公園がこのたび10周年を迎えたことを受け、記念イベントが行われました。

市民に親しまれ、満10歳!!



NO. 85

第3回定例会の主な審査状況

9月3日(火) 第3回定例会 開会／予算決算委員会

- ・市長から市政についての所信が表明され、議案15件、報告3件が提出されました。
- ・補正予算に関する議案9件を予算決算委員会に付託しました。
- ・本会議散会后、予算決算委員会を開催し、付託された議案9件の説明を受けました。

9月9日(月) 一般質問

- ・3会派による代表質問を行いました。

9月10日(火) 一般質問

- ・議員5名による個人質問を行いました。

9月11日(水) 一般質問

- ・議員3名による個人質問を行いました。
- ・市長から追加議案1件が提出されました。
- ・議案7件、請願1件をそれぞれ所管の常任委員会に付託しました。

9月13日(金) 総務文教委員会

- ・付託された議案2件および請願1件について審査の結果、議案2件はいずれも可決、請願については不採択にすべきと決しました。
- ・意見書案1件について協議し、委員会提案により本会議に提出することとなりました。

9月17日(火) 生活福祉委員会

- ・付託された議案1件について審査の結果、可決すべきと決しました。
- ・報告1件について担当課より説明を受けました。

9月18日(水) 産業建設委員会

- ・付託された議案4件について審査の結果、いずれも可決すべきと決しました。
- ・報告3件について担当課より説明を受けました。

9月20日(金) 予算決算委員会

- ・付託された議案9件について各分科会から主査報告を受け、採決の結果、議案9件はいずれも可決すべきと決しました。

9月25日(水) 第3回定例会 閉会／予算決算委員会

- ・第3回定例会に提案されたすべての議案について各常任委員長の報告を受け、採決を行った結果、議案16件はいずれも可決、請願1件は不採択と決しました。
- ・議員8名より市議会議員の定数を定める条例の改正案が提出され、記名投票の結果、否決となりました。
- ・総務文教委員会より意見書案が提案され、採決の結果、可決と決しました。
- ・2つの特別委員会の委員長より調査報告を受けました。
- ・議員より提出された決議案2件については、採決の結果、いずれも可決しました。
- ・市長から平成24年度決算にかかる議案15件が提出され、予算決算委員会に付託しました。
- ・閉会后、予算決算委員会を開催し、付託された議案15件の説明を受けました。

ばんどうしげみつ 坂東成光議員 逝去



故 坂東成光氏

平成3年初当選・当選6回
63代目副議長、監査委員、
産業建設委員長等を歴任

去る10月9日、病のため逝くなされました。ご生前の功績をたたえるとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。

～私たちが市政のチェックをします！～

任期満了に伴う鳴門市議会議員一般選挙について、11月10日に告示、同17日に投開票が行われ、次の22名の方が当選の栄に輝きました。なお、任期は本年12月18日から平成29年12月17日までです。委員会構成等の詳しい内容につきましては、平成26年3月1日発行の議会だより86号に掲載予定です。

第18期鳴門市議会議員氏名等一覧

(掲載は得票順)

氏名	氏名読み	年齢	所属	現・新・元の別	当選回数	氏名	氏名読み	年齢	所属	現・新・元の別	当選回数
橋本 国勝	はしもと くにかつ	69	無	現	6	谷崎 徹	たにざき とおる	64	無	現	2
宅川 靖次	たくかわ やすじ	66	無	現	3	山根 巖	やまね いわお	53	無	現	2
藤田 茂男	ふじた しげお	59	無	現	7	上田 公司	うえだ こうじ	51	共産	現	2
東 正昇	あずま まさのり	64	無	現	3	大石美智子	おおいし みちこ	57	無	現	3
川田 達司	かわた たつじ	68	無	現	4	三津 良裕	みつ よしひろ	63	無	現	5
佐藤 絹子	さとう きぬこ	68	無	現	8	宮崎 光明	みやざき みつあき	64	無	現	4
潮崎 焜及	しおざき てるちか	66	無	現	2	林 勝義	はやし かつよし	74	無	現	3
野田 粹之	のだ きよゆき	66	無	現	6	叶井 克典	かない かつのり	57	無	新	1
秋岡 芳郎	あきおか よしろう	61	無	現	4	平塚 保二	ひらつか やすじ	65	無	現	2
松浦 富子	まつうら とみこ	58	公明	現	2	圃山 俊作	はたけやま しゅんさく	59	無	新	1
浜 盛幸	はま せいこう	60	公明	新	1	東谷 伸治	ひがしだに しんじ	33	無	元	2

※所属は無：無所属、公明：公明党、共産：日本共産党

第3回定例会の提出議案と議決結果

議案番号	案 件	議決結果	備考
	議案第79号鳴門市職員諸給与条例の一部改正についての訂正について	承認	
議案第70号	平成25年度鳴門市一般会計補正予算（第1号）	原案可決	予算決算委員会
議案第71号	平成25年度鳴門市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）		
議案第72号	平成25年度鳴門市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		
議案第73号	平成25年度鳴門市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）		
議案第74号	平成25年度鳴門市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）		
議案第75号	平成25年度鳴門市産業団地開発事業特別会計補正予算（第1号）		
議案第76号	平成25年度鳴門市公債費管理特別会計補正予算（第1号）		
議案第77号	平成25年度鳴門市水道事業会計補正予算（第1号）		
議案第78号	平成25年度鳴門市モーターボート競走事業会計補正予算（第1号）		
議案第79号	鳴門市職員諸給与条例の一部改正について	原案可決	総務文教委員会
議案第85号	工事請負契約の締結について（鳴門市デジタル防災行政無線（同報系）施設整備工事）	原案可決	
議案第80号	鳴門市国民健康保険条例等の一部改正について	可決原案	福祉生活
議案第81号	鳴門市準用河川の河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の一部改正について	原案可決	産業建設委員会
議案第82号	鳴門市下水道条例の一部改正について		
議案第83号	鳴門市下水道事業受益者負担金に関する条例の一部改正について		
議案第84号	市道路線の認定及び廃止について		
発議第6号	鳴門市議会議員の定数を定める条例の一部改正について	否決	
意第2号	地方税財源の充実確保を求める意見書	可決原案	
報告第8号	財団法人鳴門地域地場産業振興センターの経営状況について	報告	産業建設委員会 福祉生活・建設産業
報告第9号	鳴門市観光コンベンション株式会社の経営状況について		
報告第10号	専決処分について（損害賠償の額の決定）		
同意第3号	教育委員会委員の任命について	同意	
同意第4号	公平委員会委員の選任について		
諮問第2号	人権擁護委員の推薦について		
決議第5号	大石美智子議員に鳴門市議会倫理条例の遵守を求める決議	原案可決	
決議第6号	鳴門市議会及び鳴門市議会議員の法令遵守の徹底と政治倫理の確立に関する決議		

人 事 案 件

[同意第3号]

教育委員会委員に **加藤 一夫**(かとう かずお)氏(大麻町)

[同意第4号]

公平委員会委員に **村雲 和子**(むらくも かずこ)氏(大麻町)

[諮問第2号]

人権擁護委員に **鍋島 治秀**(なべしま はるひで)氏(大津町)
平岡 利子(ひらおか としこ)氏(撫養町)

上記3件の任命・選任・推薦について同意しました。



第3回定例会の最終日（9月25日）に追加提案された、平成24年度鳴門市一般・特別会計決算にかかる議案については、9月25日の予算決算委員会での議案説明にはじまり、10月1日～10日の予算決算委員会および各分科会で審議が行われました。第4回定例会の初日に審議内容が報告され、採決を行います。

※（各分科会での審査概要については、7～9ページを）ご覧ください。

議員倫理調査特別委員会報告

委員長：佐藤絹子 副委員長：三津良裕
委員：宅川靖次、谷崎 徹、松浦富子、上田公司、
潮崎焜及、秋岡芳郎（H25.9.2～）、
榎原幸告（H24.12.21～H25.9.2）

《調査の経緯》

年月日	会議の内容	年月日	会議の内容
H25.1.29	調査事項の決定	6.17	委員内の意見調整
2.13	調査方法の決定	6.20	委員内の意見調整
3.14	大石議員を参考証人招致	6.24	市元担当課長を参考証人招致
3.26	大石議員の証言を受けて委員内の意見調整	7.12	委員内の意見調整
4.23	大石議員を再度参考証人招致	8.5	中間報告案について意見調整
5.31	委員内の意見調整	9.11	委員内の意見調整

【調査の趣旨】

平成24年10月の予算決算委員会における平成23年度決算審査の中で判明した、大石美智子議員の配偶者が代表理事である社会福祉法人はぐくみ会が経営する私立保育所すみれ保育園に対する鳴門市からの補助金支出に関し、鳴門市議会倫理条例第12条に抵触している恐れがあるため、調査を行うもの。

【調査結果】（議員倫理調査特別委員長報告より一部抜粋）

本件補助金は倫理条例第2条第4項の「請負等」に該当しており、～中略～「大石議員は、第5条の適用を受けているにもかかわらず、請負等を行うことに対して辞退するようには努めていない」ことより、倫理条例第12条に抵触するという意見と「倫理条例は、鳴門市議会議員が議員の職権を利用して、鳴門市及び鳴門市特定

法人から、自己及び自己の利害関係者からの利益を図ることを防止することを目的とすることから～中略～有利にとりにはかかっていないことを確認できており、倫理条例第12条には抵触していない。」との意見があり、～中略～倫理条例第12条に抵触している、していないとの結論を出すには至りませんでした。

前監査委員の服務に関する調査特別委員会報告

委員長：谷崎 徹 副委員長：川田達司
委員：山本 秀議長及び榎原幸告議員を除く全議員

《調査の経緯》

年月日	会議の内容
H25.4.23	調査方法の決定
5.1	榎原議員を参考人招致
6.14	市企業局長、市監査委員事務局長、潮崎議員を参考人招致
8.5	潮崎議員を再度参考人招致
8.28	委員内の意見取りまとめ

【調査の趣旨】

「榎原幸告前監査委員の服務に関する100条調査に関する決議」の提案者が、市に対する訴訟に関する文書の情報公開請求を市に対して行い、関係文書を閲覧したところ、監査委員や監査委員事務局長しか知り得ないはずの文書が訴訟の原告の一員である潮崎議員からの証拠書類として提出されていたことが分かった。当時議会選出監査委員であった榎原議員が監査委員の権限を行使する中で得た情報を原告側に渡したとすると、「公正不偏の原則」や「守秘義務の服務規程」に違反する行為となる可能性があるため調査を行うもの。

【調査結果】（前監査委員の服務に関する調査特別委員長報告より一部抜粋）

地方自治法第198条の3第1項「監査委員は、その職務を遂行するのに当たっては、常に公正不偏の態度を保持して、監査をしなければならない。」との調査事項に対しては、違反しているという意見は出ませんでしたので、違反しているとの結論には至りませんでした。地方自治法第198条の3第2項「監査委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはいけない。その職を退いた後も同様とする。」については、「榎原議員が守秘義務を犯しているとの結論づけ」に賛成の委員の挙手を求めたところ、挙手多数により「榎原議員が守秘義務を犯している。」との結論に至りました。

最後に、委員からは再発防止のためには、高い倫理観を持った上で監査委員としての役割をいかに果たしていくかが重要。また監査委員事務局に対して、この度の調査は、監査委員に関する事犯であるので、今後、監査委員事務局においても、高い倫理感、職務感を持ち、職責を果たすように求めるとの意見がありました。

地方税財源の充実確保を求める意見書

地方財政は、社会保障関係費などの財政需要の増加や地方税収の低迷等により、厳しい状況が続いている。こうした中、基礎自治体である市が、住民サービスやまちづくりを安定的に行うためには、地方税財源の充実確保が不可欠である。よって、国においては、下記事項を実現されるよう強く求める。

意見書は各関係機関に送付しました。



記

- 地方交付税の増額による一般財源総額の確保について
 - 地方単独事業を含めた社会保障関係費の増など地方の財政需要を、地方財政計画に的確に反映することにより、一般財源総額を確保すること。
 - 特に地方の固有財源である地方交付税については、本来の役割である財源保障機能・財源調整機能が適切に発揮されるよう増額すること。
 - 財源不足額については、臨時財政対策債の発行等によることなく、地方交付税の法定率の引上げにより対応すること。
 - 依然として厳しい地域経済を活性化させる必要があることから、地方財政計画における歳出特別枠を維持すること。
 - 地方公務員給与の引下げを前提として、平成25年度の地方交付税が削減されたが、地方の固有財源である地方交付税を国の政策誘導手段として用いることは、避けること。
- 地方税源の充実確保等について
 - 地方が担う事務と責任に見合う税源配分を基本とし、当面、国と地方の税源配分を「5：5」とすること。その際、地方消費税の充実など、税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系を構築すること。
 - 個人住民税は、その充実確保を図るとともに、「地域社会の会費」という基本的な性格を踏まえ、政策的な税額控除を導入しないこと。
 - 固定資産税は、市町村の基幹税目であることから、その安定的確保を図ること。特に、償却資産の根幹をなしている「機械及び装置」に対する課税等については、現行制度を堅持すること。
 - 法人住民税は、均等割の税率を引き上げること。
 - 自動車重量税及び自動車取得税は、代替財源を示さない限り、市町村への財源配分の仕組みを含め現行制度を堅持すること。
 - ゴルフ場利用税は、ゴルフ場所在の市町村にとって貴重な税源となっていることから、現行制度を堅持すること。
 - 地球温暖化対策において地方自治体が目指している役割を踏まえ、地球温暖化対策譲与税を新たに創設するなど、地方税財源を確保する仕組みを構築すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年9月25日

鳴門市議会

討論

第3回定例会で審査した議案のうち以下の3件は、賛成・反対討論を行いました。
また、上の2件については、その後記名投票による採決を行いました。

- 発議 第6号 ● 鳴門市議会議員の定数を定める条例の一部改正について
- 決議 第5号 ● 大石美智子議員に鳴門市議会倫理条例の遵守を求める決議
- 意 第2号 ● 地方税財源の充実確保を求める意見書

発議第6号	<p>【提案理由の説明】 野田 粹之 第2回定例会では議員定数2人減を提案し否決されたが、市民からの励ましの声を受け、議員だけの常識や都合で判断するのではなく市民の声を素直に聞くことが肝要と考え、再度提案する。（一部を抜粋）</p>
	<p>反対 上田 公司 提案者は削減理由を財政的メリットや人口減少としながら、それに関するデータや資料を示さず、示す気もない。一方、市民が定数削減を望む理由は、議員としてほとんど役に立っていない議員をどうにかしてくれという思いからである。この現状で単純に削減しても、議員の資質や倫理観を改善・向上させない限り市民のためにはならない。</p> <p>賛成 秋岡 芳郎 鳴門市は行財政改革のため、職員の給与削減を実施しており、議員も自ら身を削る必要がある。今まで鳴門市議会では議員定数4人減が否決されたことから実現不可能と判断し、せめて2名削減することで市民の声に応えるべきではないか。</p>
決議第5号	<p>【提案理由の説明】 宮崎 光明 議員倫理を具体化したものが議会倫理条例である。委員会の調査報告からも、大石美智子議員がこの倫理条例に抵触しないよう努力義務を果たし、また果たそうとした事実が見いだせない。委員会の最終判断を下すのが困難な状況となっているが、市民への説明責任を果たす上でもこれを看過できない。（一部を抜粋）</p>
	<p>反対 潮崎 焜及 決議の提案理由説明でも、違反ではないとの結論がすでに出ている過去の特別委員会までさかのぼって意見が述べられている。このたびの決議は範囲外まで及ぶものであり、強く反対する。</p> <p>賛成 討論者なし</p>
意第2号	<p>【提案理由の説明】 宅川 靖次 ※意見書（右ページ下段）全文を朗読。</p>
	<p>反対 上田 公司 概ねの内容について一様に反対するものではなく、例えば地方交付税増額による一般財源総額の確保などについては、その意に沿っていることを示しておきたいと思うが、「地方消費税の充実」については消費税増税を助長させてしまうことになり、とうてい賛同することはできない。</p> <p>賛成 討論者なし</p>

記名投票の結果

(退：退席)

議案	議決結果	賛否	秋岡芳郎	東正昇	上田公司	大石美智子	川田達司	佐藤絹子	潮崎焜及	宅川靖次	谷崎徹	野田粹之	橋本国勝	林勝義	坂東成光	平塚保二	藤田茂男	松浦富子	三津良裕	宮崎光明	山根巖	山本秀	横井茂樹
発議第6号	否決	賛成	9	○		○	○		○			○	○			退	○	○	○			※1	
		反対	10		○	○			○		○	○			○	○					○	○	
決議第5号	原案可決	賛成	11		○	○			○	○	○			○	○	○				○	○	※1	
		反対	8	○			※2		○	○		○	○					○	○	○			

※1 山本 秀議長は、地方自治法第116条(表決)第2項により、議員として議決に加わることはできません。

※2 大石美智子議員は、地方自治法第117条(除斥)により、議会の同意がある場合を除き、当該議事に加わることはできません。

委員会審査から

総務文教委員会

●議案第79号 鳴門市職員諸給与条例の一部改正について

〔説明〕県から派遣されている指導主事の給料月額及び期末勤勉手当について、県職員との均衡の観点から同様の削減措置を実施するため所要の改正を行うもの。

●議案第85号 工事請負契約の締結について（鳴門市デジタル防災行政無線（同報系）施設整備工事）

〔質疑〕落札価格と最低制限価格が同額になった理由は。

→ 入札金額により最低制限価格が変動する変動制最低制限価格を採用しており、制度上、結果として同額になることもありうる。

〔要望〕瀬戸地区にも沿岸漁業を行っている方にも情報が伝わるよう高出力のサイレンを整備してほしい。

→ サイレンの整備計画については実施設計時に行った音達調査を反映したもので、自主防災会、消防団、漁協の方とも協議を行い計画しているが、要望があれば変更できる範囲で検討したい。

生活福祉委員会

●議案第80号 鳴門市国民健康保険条例等の一部改正について

〔説明〕地方税法が改正され、平成26年1月1日以降の期間に対応する延滞金の割合が見直されたことに伴い、地方税法の規定を準用している国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料における延滞金の割合の特例についても見直しが必要となったため、関係条例の改正を行うもの。

産業建設委員会

●議案第81号 鳴門市準用河川の河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の一部改正について

〔説明〕主な改正点は、河川管理者が定めた計画津波水位が計画高水位より高い河川の区間を津波区間と設定し、堤防の高さが計画津波水位を下回らないようにすること。また水門や樋門は操作員の安全確保のため、自動的または遠隔操作によりゲートの開閉ができるものとするもの。

〔質疑〕市内に対応が必要となる樋門は何カ所あるのか。

→ 現在市が管理している樋門は49カ所あるが、附則に現に存する水門及び樋門や工事中の水門及び樋門が改正後の条例の規定に適合しない場合は、当該規定は適用しないという経過措置が設けられており、現在は改築の計画がないため、すぐに対象となるものはない。

●議案第84号 市道路線の認定及び廃止について

〔質疑〕今回市道認定予定の斎田大池2号線近辺の道路について、当該道路の南側にある道路は迂回できる道路として市道認定できないのか。

→ 当該道路は一部民地があるため市道認定できていないが、認定外道路として市が管理している。

予算決算委員会

●議案第70号 平成25年度鳴門市一般会計補正予算（第1号）ほか各特別会計及び事業会計に関する補正予算議案8件

〔説明〕疾病対策事業等補助金については、平成25年度の国のがん検診推進事業で新たにHPV検査検証事業が導入され、そのモデル事業実施市に本市が指定されたため、国からの補助予定額の増額分を計上している。平成24年度の子宮けいがん検診の受診者は354人で受診率は87.6%。平成25年度のHPV検診対象者は1,144人で400人程度の受診を見込んでいるとのこと。

〔説明〕生活保護基準の改定による影響については、個人住民税の非課税限度額が変わってくるなどあるが、平成25年度については影響がなく、平成26年度以降の税制改正については、今後国が対応する。

〔質疑〕雨水対策としてポンプ修繕の予算が計上されているが、ポンプの点検状況は。

→ 下水道課が管理しているポンプ場は、1ヶ月に2回点検を行い、エンジンの機動状況の確認を行っている。農林水産課が管理しているポンプ場は、年1回点検を行うとともに、管理員から不都合があると連絡があった時に対応している。

〔要望〕管理員との打ち合わせや点検を十分行い、常に完全な形に近づけるようにしてほしい。

〔要望〕文明橋の補修については、補修設計の委託料600万円と工事請負費の800万円の予算が計上されているが、特徴のある文化的な橋なので、その特徴を残し、市民が納得できるような補修をしてほしい。



平成24年度の決算について話し合いました

7日間にわたり、予算決算委員会および各分科会を開催し、平成24年度決算に関する15議案について審査しました。

委員会での審査の中で出た意見・要望や、それに対する答え、説明を抜粋しました。
(◆：意見 / ★：要望 / ●：答え、説明)



— 子育て —

★未婚の一人親家庭に対しても、保育料や公営住宅の家賃などを考慮する取り組みの実現を検討してほしい。

◆預かり保育の受け入れ基準が低いために、安易な制度の利用や現場の職員不足を招いているのではないかと。

◆預かり保育の本質を考え、仕事等のやむを得ない事情のある保護者が利用するよう、市として受け入れ時のチェックをしっかりと行うべき。



— 教育 —

●教育施設の修繕について、現況復旧など軽微なものになることが明確な場合は、可能な範囲内で小規模登録業者に依頼する。

◆事務局が執行する教育施設の修繕は、基本的方針として公的に登録している業者に発注するよう努めてはどうか。



★教育施設の修繕を受注している未登録の業者にも登録するよう指導してほしい。

●就学指導委員会は、各自のニーズに応じた就学支援のための教育委員会の付属機関。任期1年の委員15名以内で構成し、就学調査員の報告をもとに、主に障がいの種類・程度から判定を行う。委員会での判定結果と本人の希望が異なるときは、判定結果を保護者の方に伝え、子どもの状況等を勘案した上で、最終的には保護者が判断するが、委員会で提案されていない就学先は基本的には選べない。強い希望がある場合は、各校との相談により調整を行う。

●なると環境スクール推進事業は、各園・各校における取り組みの中で削減した電気使用料金の50%を消耗品費として配分。物品購入代等に充ててもらうことで、児童生徒が自分たちの取り組み効果を実感できる。

●人権教育副読本として30年以上使用されている「ひかり」「わたしの願い」は、本の名前は変わらないが、内容は県小学校人権教育研究会において編集委員が毎年検討している。↑

— 文化 —

●福永家住宅のように複数の建築物から構成される文化財は、周辺環境も含めた全体的な保全が必要であり、隣接する塩業資料館用地もその保全区域に含まれる。

★福永家住宅の保存整備計画を立てる中で、できるだけ早く塩業資料館用地の位置づけも考えてほしい。

— 介護・保険 —

●市民課連絡所の業務量の調査を行い、現状の職員体制で可能なサービスを検討した上で、保険証の取り次ぎを行う。

★市民課連絡所の受け入れ体制を強化し、利用者の利便性向上のため連絡所特有のサービスを充実させてほしい。

●ボランティアポイント事業は、認知症の方への介護支援として開始。活動の場を市内7カ所のグループホームに限定していたが、平成24年度には特別養護老人ホームや老人保健施設にも広げた。高齢者の方のボランティア活動を通じた健康づくりのため、地域活動にも広げていく。



— 福祉・健康 —

●生活保護扶助費の給付において、傷病のため就労できない状況で医療を受けていない場合などがあり、健康診断を勧めるため検診命令を出している。

◆介護支援ボランティアに登録し活動する方々のモチベーションの維持のため、制度のシステムの構築が必要。

●人権に関する相談は、平成24年度で746件あり、そのうち2割が市外の方。全体の8割がDVに関する相談。

◆医療を受けずに重症化するような事例を未然に防ぐため、健康診断の受診や健康に対する自己啓発を促すことは、扶助費の抑制や担当職員の負担軽減にもつながるのではないかと。





— 環境・衛生 —

●うずしおふれあい収集は、高齢者や障がいのある方の世帯を対象に、職員が戸別に訪問し粗大ごみなどを収集。市公式ウェブサイトや広報紙により啓発を行っている。

★うずしおふれあい収集は市民の評判が良いので、啓発にもっと力を入れてほしい。

●ごみ収集車は平成25年2月より8台体制で試行していたが、収集時間が遅延したため、現在は10台体制。

●ごみの排出抑制の啓発、リサイクルステーションへの配車台数やリサイクルプラザの職員数の見直しなどでごみ処理経費の削減に努めている。



★ごみ処理の経費削減は必要だが、市民生活に支障が出ないように十分考慮してほしい。

●現在の焼却施設の保証期間である平成23年度までは補修費の負担はないが、それ以降は市が負担する。業者とは、平成20～34年度の15年間の補修費等の総額設計額を設定し、正当な理由なくこれを超えた場合は業者に請求する契約を交わしている。

★クリーンセンター設備も年数が経過するほど傷みやすくなるため、市に余分な負担が生じないように配慮してほしい。

★新しい指定ごみ袋は、従来のものより幅が狭いがマチがあるため容量は変わらないことについて、広報紙だけでなく指定ごみ袋の販売店などでも周知を図ってほしい。

●高濃度 PCB 廃棄物は処分を完了し、その他は一般廃棄物として処分する予定。また各校にある PCB 変圧器は成分検査を行い、微量 PCB 廃棄物については厳重に保管している。

●国が PCB 特別措置法で規定する平成28年7月までの処分完了が困難とし、処分期間を平成39年3月31日まで延長した。

●各小中学校の微量 PCB 廃棄物等は、運搬を一括化すれば経費も削減できるため、搬出・処分の時期を各部局と調整し、速やかに処分する。

●北灘中学校が保管する2台の PCB 変圧器のうち1台から、やや濃度の高い PCB が検出されたため、その処分方法は現在関係機関に確認中であり、その結果に基づき適正な処分を行う。



★各小中学校での PCB 廃棄物保管の現状を教職員や保護者に十分説明してほしい。↑



— 防災・災害 —

★操業中の漁業者への避難情報の周知について、県でも計画策定などの動きがあり、本市でも対応してほしい。

— 消防 —

●各分団の消防自動車の更新については、地区ごと、耐用年数、本部からの距離等から年次計画を立てている。平成24年度は三ツ石、備前島、段関の車両を更新。



●消防庁舎の太陽光発電蓄電システムは、災害時に災害対策活動を機能させるため設置。売電は行わず常に満杯の状態を保ち、余剰分は消防庁舎の電力の一部に充てており、年間約14万円の節電効果が見込まれる。昼間では約10時間、夜間では約4時間、消防庁舎を機能させる能力を持つ。

◆救急搬送時に家の前等で受け入れ先の病院を選定していることについて、患者や家族等の心情を考えると一刻も早く出発するべき。

●救急出場時には、傷病の程度を聞きながら現場に向かい、到着後、応急処置を行い、血圧や意識など聴取した上で、患者に最適の病院を救命士が選定している。



●市内に46ある分団詰め所のうち31カ所が旧の耐震基準によるもので、平成26年度から5カ年計画で、建築年数や構造等をふまえ、各地区1カ所ずつ耐震化・耐震診断を進める。

— 消費生活 —

★消費生活相談員の有資格者に対する現在の報酬額は低すぎるため、もう少し改善してほしい。

★消費生活に関する講演会の内容は少しずつ工夫されているが、今後は市民と行政の双方向の運営内容で考えてほしい。↑



— 選挙 —

★特に高齢者や体の不自由な方に対して、また次の選挙も来たいと思ってもらえる環境づくりや対応をしてほしい。



— 職員 —



●毎年、リーダーを中心に人権研修を実施。人権研究も広く職場内で行っており、それなりの効果も出ている。

★ハラスメントに関する相談業務について、なかなか胸

の内を明かすことのできない難しい問題なので、最善を尽くしてほしい。

★幼・小・中学校の職員研修について、教育現場では臨時職員が多い現状を鑑み、臨時職員に対する研修の機会を積極的に設けるべきであり、特に幼稚園においては就学前教育に十分対応できるような体制づくりに努めてほしい。



— その他 —

●市議会議員の平成23年度の政務調査費において、政務調査費使途基準詳細規定に定められた使途の範囲を超える支出があったため、その相当分について返納を受けた。

●戦没者追悼式の内容は、遺族会とも協議し今年度から大幅に変更しているが、遺族会以外の方の参加も今後も検討する。

— 下水道 —

●単独処理浄化槽や汲み取り槽から合併処理浄化槽へ転換する場合、公的補助は約4割で残りは個人負担となり、転換も努力義務であるため転換がなかなか進まないのが現状。パンフレットや広報紙等で啓発を行っている。

●従来は合併処理浄化槽の新設と転換の両方に補助制度があったが、平成23年度の浄化槽法の改正で、補助対象が転換のみになった。

◆敷地内の建物の位置等により単独処理浄化槽や汲み取り槽の撤去が困難な市民にも、情報提供を行うことで目標の転換数を達成できるのでは。



— まちづくり —

●道や水路などの法定外公共物について、土木課が機能を果たしていない、また不要と判断したものは用途廃止の手続きをするが、実



際公共利用されていないか判断する際、地域の方と協議の上、同意を得ている。

★まちづくり出前市長室について、市民が意見を出しやすい雰囲気づくりなど意見の集約方法を改善し、成果の反映状況を分かりやすくしてほしい。

— 税 —

●市たばこ税の税収は平成22年の値上げ時に一度増加し、現在は減少傾向。平成25年度は県税分の市税分への移管分があるため増加の見込み。

●1箱410円のたばこの税収は92.36円。

●軽自動車税は、平成17年より標準税率の1.2倍の超過税率を適用している。現在は税率の見直しを考えていない。



— 財政 —

●運輸事業の廃止により、土地等も含めた財産が一般会計に引き継がれた。

●市役所庁舎を1つのビルとして建て替えるならば数十億円必要となる見込みで、その財源構成は通常、4割から5割程度が積立金、残り4割から5割程度が起債、残り1割から2割程度が一般財源となる。↑



平成24年度鳴門市一般会計決算

歳入

その他 26.7億円	繰入金 6.0億円
県支出金 16.2億円	
国庫支出金 31.3億円	
市債 31.3億円	
地方交付税 39.9億円	
市税 80.9億円	

歳入総額
232.3億円

歳出

その他 11.0億円	消防費 7.8億円
土木費 14.0億円	
衛生費 15.6億円	
教育費 24.3億円	
公債費 34.2億円	
総務費 37.3億円	
民生費 82.1億円	

歳出総額
226.3億円

個人質問

●橋本 国勝

1. 行財政運営について
 - (1) 財政の健全化について
 - (2) 行政改革の推進について
2. 土木行政について
 - (1) 県道黒山中山線について
 - (2) 渡船事業について

●野田 粹之

1. 高齢者福祉について
 - (1) 軽度生活支援事業について
2. 2025年問題について
 - (1) 団塊の世代の雇用について

●平塚 保二 (会派 絆)

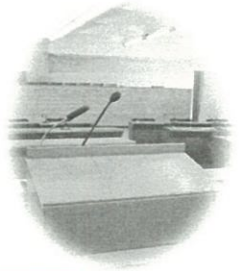
1. 市長の政治姿勢について
 - (1) 2期目への抱負と具体的施策について
2. 水環境問題について
 - (1) 下水道事業について
 - (2) 合併処理浄化槽について
3. 競艇事業について
 - (1) 競艇場の今後の在り方について

●松浦 富子 (会派 公明党)

1. 市長の政治姿勢について
 - (1) 将来の社会保障の給付と負担について
 - (2) 社会保障とその他の公共サービスの関係について
 - (3) 介護保険等の市町村の事務の移行について
2. がん教育について
 - (1) 学校現場でのがん教育について

●秋岡 芳郎 (会派 のぞみ)

1. 市長の政治姿勢について
 - (1) 4年間の総括と2期目への基本方針について
2. 人口減対策について
 - (1) 経済の活性化について
3. 下水道事業について
 - (1) 下水道事業の現状と今後の見直しの方針について



●藤田 茂男

1. 防災対策について
 - (1) 津波避難施設建設および津波避難タワーについて

●山根 巖

1. 教育行政について
 - (1) 魅力ある学校づくりについて
2. まちづくりについて
 - (1) 空き家対策について
3. GID に関する問題について
 - (1) GID問題に対する市としての対応について

●上田 公司

1. 学校教育について
 - (1) 指定校(園)変更許可認定基準について
2. 高齢者福祉について
 - (1) 住宅関連助成金について

●川田 達司

1. 鳴門市の「まちづくり」について
 - (1) We Loveなるとまちづくり活動応援補助金事業について
2. ボランティア活動について
 - (1) 実態調査と活動支援策について

●三津 良裕

1. 市民が主役のまちづくりについて
 - (1) 市民との協働について
 - (2) 行政の果たす役割について
 - (3) 地域の施設について
2. 福祉行政について
 - (1) 介護施設について
 - (2) 地域の在宅介護について
 - (3) 生活困窮者への支援策について
3. 教育行政について
 - (1) 学校5日制、2学期制について
 - (2) 学校の統合(瀬戸中学校・北灘中学校)について
 - (3) 高校進学について

●谷崎 徹

1. 防災・減災対策について
 - (1) 自主防災組織の取り組みについて
 - (2) 防災・減災意識について
 - (3) 被災後の対応について
2. 建設行政について
 - (1) 生活環境改善への助成について
3. 教育行政について
 - (1) 学校再編について

進のため、
の加入促
下水道へ
より公共
はかねて
はかねて



合併処理浄化槽

本市で
24.7%に微増しています。
22.9%であり、直近の8月末には
共下水道加入率は、水洗化率で

【答】平成25年3月末時点における公
解は。
明責任を果たすことについての見
解が得られるような緩和措置と説
促進策について、工区の住民の理
まだ払拭されていない。また加入
使用料金が多くかかるとの声はい
か。宅内工事費、受益者負担金、
用開始から約5年近く経つ現在も
下水道加入率が約22%しかないの

◆水環境問題(下水道整備)について

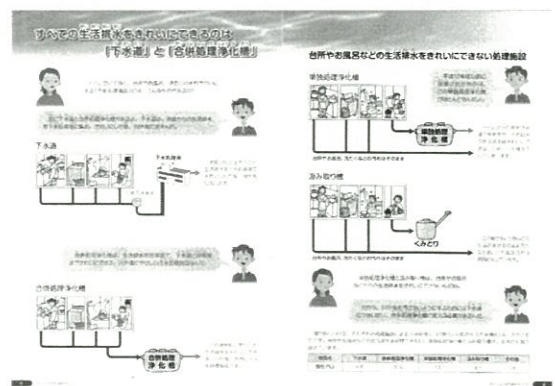
代表質問



会派 絆
ひらつか やすじ
平塚 保二

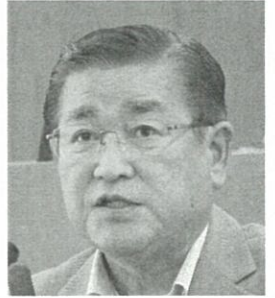
ことからは、より多くの市民の皆様
に下水道に加入・接続していただ
くため、調査・検討を重ねながら
使用料の減免や助成制度の拡充な
ど負担軽減策を実施してきました。
特に昨年度から実施しているグル
ープ申請制度については前向きな
ご意見をいただくことも多く、加
入率の向上だけでなく、下水道事
業についての意見交換が出来る機
会となっています。

地元説明会や職員、普及促進員に
よる戸別訪問、広報紙や市公式ウ
ェブサイト等のさまざまな方法で、
必要性や加入促進の周知・啓発に
努めてきました。しかし個人負担
等については厳しい意見も多い
ことから、



市内全戸に配付されたパンフレット
「きれいな川や海を守ろう!」より

代表質問



のぞみ 芳郎
あきおか 派
秋岡 よしろう

◆市長の政治姿勢について

問 泉市長の政治的な立ち位置、スタンスについて。

答 市長という立場は、多くの市民の意見や要望の調整役、代弁者となり市政の運営を行うために、公平不偏のいわば市民党として行動してきました。

◆人口減対策について

問 人口減対策として、地域経済の活性化のためのエコノミックグリーンングの取り組み状況と効果について。

答 継続的な企業訪問とこれによる企業ニーズの把握、また信頼関係を構築するとともに、企業間あるいは市とさまざまな団体とのネットワークの構築を図っています。具体的には、阿波銀行との企業誘致連携協定の締結や複合産業団地

における高速インターネット環境整備、合同就職面接会を実施しました。また今年度には、企業



大勢の人でにぎわう大道銀天街の100円商店街

の設備投資等を促進するため複合産業団地敷地内の緑地面積率制限の緩和を開始しました。さらに

大道銀天街で100円商店街を開催したほか、将来を担う小学生を対象とする企業家育成プログラムを実施しています。

◆下水道事業について

問 公共下水道事業の見直しの検討について。

答 第2期事業区域は平成23年3月に見直した汚水処理構想に伴い、計画区域を縮小しています。

今後も国等の動向や本市の財政状況を考慮し、社会情勢に適切に対応するため、さまざまな検討や見直しを重ね、より効率的な事業実施に努めます。また、市民への正しい情報提供に努め、広く意見を伺います。

代表質問



公明党 富子
まつうら 派
松浦 とみこ

◆市長の政治姿勢について

問 高齢化社会において、今後の現役世代の負担増加が将来不安となっているが、ますます重くなる鳴門市の市民負担に鑑み、これからの行政運営をどう考えるか。

答 社会保障制度改正の情報収集に努め、市民が必要としているサービスを的確につかむニーズ調査を実施し、平成26年度に策定する第6期鳴門市高齢者保健福祉計画および介護保険事業計画に反映させることにより、安心して市民生活を送ることができるよう努めていきたいと考えています。

社会保障制度改正の具体的な方向性については今後、国における議論の内容や改正法案についての情報収集を行いながら、本市における対応についての検討していきます。

◆がん教育について

問 鳴門市の小・中学校でのがん教育の取り組みの現状は。また鳴門市の将来を担う子どもたちを守るために、がん教育を積極的に推進すべきと思うが本市の考えは。

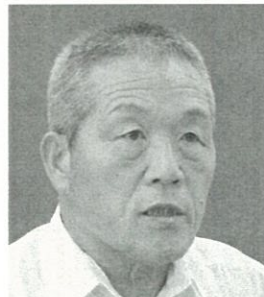
答 小・中学校の保健体育の授業では、できるだけ生活習慣を望ましいものにしてがんの発病を予防し、定期的に検査を受けることの重要性を指導しています。

今後、国の動きもふまえた上で、子どもたちが自らの健康について考え、がんも含めた病気の予防やさまざまな病気についての理解を深め、かけがえのない命を大切にする教育の推進に努めていきたいと考えています。



小学6年生向けのがん教育教材 (豊島区教育委員会)

個人質問



橋本 かつ国

◆行財政運営について

問 スーパー改革プランについて、3年間の取り組み実績とその評価、また財政面の効果と今後の課題とは。

答 平成22年度からの3年間で、歳入確保・歳出削減により約13億7、100万円の財政効果がありました。また財政健全化の目標として掲げた実質収支の黒字の維持、地方債残高の削減、基金残高の確保については、3年間の取り組みで数値目標を上回る成果を上げています。

プランの中でも、職員数を3カ年で102人削減、市立鳴門工業高校の再編、文化会館への指定管理者制度導入、鳴門地域産業振興センターの解散、市営バス事業からの撤退、競艇事業の累積赤字の解消などは特に力点を置き、成果を上げられたと考えています。

今後の課題としては、経常収支比率が90%を超えていることから財政需要に対し適正な処理を図りつつ、

あらゆる課題に対しスピード感を持って、鋭意、課題解決に取り組むたいと考えています。

◆土木行政について

問 渡船の老朽化、故障などへの対応は。

答 保守点検等により船舶の長寿命化を図っていますが、突然の故障の際は修繕等を行い、運休等の広報は市公式ウェブサイトを通じ、また鳴門高校と鳴門渦潮高校には直接連絡しています。長期にわたる運休時には代替的な措置を講ずるべく、検討します。



今も市民の足となっている渡船 (写真はさざなみ号)

問 県道黒山中山線整備事業の進捗状況と今後について。

答 土佐泊浦側は約90%、三ツ石側は約10%の用地を取得済であり、地図訂正作業が終了後、県が用地の買収に着手する予定です。黒山地区では、市長が全戸を訪問するなどして、おむねご理解をいただいております。今後は内陸に向かって工事を進めたいと県から聞いています。

個人質問



藤田 茂男

◆防災対策について

問 地震への備えだけでなく、津波から命を守る対策を講ずることが喫緊の課題として取り組んでいく必要があると考える。中でも里浦町の栗津・恵美寿地区は、市内でも津波の到達が一番早く、近くに高台や高い建物がなく、最も近い避難場所である里浦小学校やポカリスエットスタジアムでも2、3キロメートル離れていることから、

里浦町栗津・恵美寿地区に避難施設を建設することを強く要望する。津波から尊い命を守るために、避難施設はこの地域にはなくてはならないものと考えているが。

答 津波避難タワーなどの津波避難施設については、第六次鳴門市総合計画や鳴門市地震津波対策推進計画において、津波避難地域に整備することを検討すると位置づけています。



鳴門・大塚スポーツパーク ポカリスエットスタジアム

津波避難計画の見直しを進めるにあたっては、津波から安全かつ迅速に避難できるような計画にするため、地域の実情に精通した地域住民の方々にも計画づくりに参画していただいています。里浦地区では、里浦町自主防災会連合会の方々のワークショップを開催し、避難経路や経路上の危険箇所、津波避難施設の建設場所や施設の構造等について意見交換を行いました。

現在、浸水の高さや対象地域の人数を考慮し、地域にとって最適な津波避難施設を建設する方向で検討しています。

個人質問



やまね いわお
山根 巖

◆教育行政について

問 学校再編による魅力ある学校づくりを考えると、幼稚園・小学校・中学校が共通の目的意識を持ち、連携がなされる一貫教育の実現について、今後どのように取り組んでいくのか。

答 本市の学校再編については、単に学校を統合するのではなく、統合を機会に新しい魅力ある学校づくりを進めることが重要であり、その一つが小中一貫教育であると考えています。今後の瀬戸・北灘両町の学校再編の状況や地域の特性をふまえながら地域の实情に即した魅力ある学校づくりの一つとして、小中一貫教育についても検討したいと考えています。

◆まちづくりについて

問 本市の空き家対策について、市

民の安全・安心を守るため、さらには、空き家の利活用を含め、今後どのように取り組んでいくのか。

答 老朽化して使用できなくなった危険な空き家の撤去については、国・県の補助制度を活用して、所有者等が空き家を除去する際の費用の一部を助成するなどの施策の導入を検討していきます。

また、本市の地域振興や活性化につながるような空き家の利活用を検討するなど、本市の实情に応じた空き家対策を講じていきます。

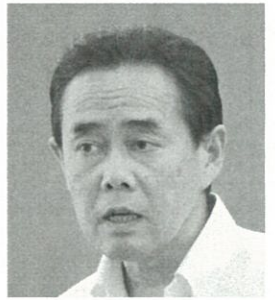
◆GID（性同一性障害）に関する問題について

問 市としてGID問題に対し、どのような対応が図られたのか。

答 鳴門市女性子ども支援センター「ぱあとなー」に相談窓口を開設し、市全体で取り組む問題として、関係機関との連携を図りながら解決に向けた取り組みを進めていきます。

【用語解説】GID（性同一性障害）
Gender Identity Disorderの略。生物学的性別と性的自己意識とが一致しないために、みずからの身体的性別に持続的な違和感を持ち、自分にとっていると自身が考える性に身体的性別の特徴を一致させることを望むこととさえある状態を、医学的な疾患名であらわしたものである。

個人質問



うえだ こうじ
上田 公司

◆学校教育について

問 指定校（園）変更許可認定基準やその運用等も含めた今後の通学区域等のあり方に対する見直しについては、意見交換会の中で保護者より、あまりにも性急に進められていることに数多くの不満の声も聞かれたことから、じっくりと時間をかけて説明し理解を求め、ことを優先するべきであり、そのために現在予定しているスケジュールを見直してみたいと考えるが。

答 意見交換会でいただいたさまざまなご意見をふまえ、今回の見直しについては周知期間を十分に設け、より丁寧にご説明した上で実施することが望ましいと考えたことから、新基準の適用については当初予定より1年間遅らせる方針で現在検討を行っています。

◆高齢者福祉について

問 介護保険制度において、要支援者・要介護者を対象に、20万円までを支給限度基準額として住宅改修費用の9割を支給する制度があるが、利用にあたってはまず改修費用を利用者が全額負担する必要があるため利用を差し控える方もいると思われることから、利用者が制度をより利用しやすいように環境整備を行うべきだと考えるが。

答 一時的な工事費負担を軽減するため、1割の個人負担のみとなるよう助成金の支払い方法を変更すると、利便性は向上しますが、不要と思われる工事を行うなど事業の趣旨に反する状況も考えられるため、今後研究していきたいと考えています。



助成制度も利用しやすさが望まれる

議員の一般質問に関する記事の原稿は、項目を選定し作成しています。

個人質問



の だ きよ ゆき
野田 粹之

◆高齢者福祉について

問 他市では軽度生活援助事業等を行っているが、本市では具体的な事業を行っているのか。

答 移動支援としては、高齢者等無料バス優待券交付事業を実施しています。在宅における家事援助については、現在本市が直接実施している事業はありませんが、国における議論の内容を注視しつつ、長期的には、介護サービスの需要がピークを迎える2025年を視野に入れ、他市町村で実施される移動販売や軽度生活援助事業の内容を参考にしながら検討したいと思います。考えています。



市営バス撤退後も実施されている高齢者等無料バス優待券交付事業

◆2025年問題について

問 団塊の世代の雇用の場創設についての考えは。また鳴門には軽作業的な仕事がたくさんあると思うが、それを行う場所として公設市場を活用しては。

答 超高齢化社会の到来を間近に控え、高齢者が生き生きと働ける環境づくりが必要となることから、共同作業を行うための拠点施設を整備し、集約的な雇用の場を創設して高齢者雇用の場を確保することが必要です。

公設市場の活用については現在、法令等により使用目的が青果物の流通業務に限定されているため、直ちに共同作業場として活用を図ることは困難です。

今後は農協、漁協等とも連携しながら、雇用機会の創出といった観点からも検討を継続するとともに、条件を満たす他の施設についても情報収集を行っていききたいと考えています。

【用語解説】2025年問題

団塊の世代（1947～1949年に生まれた人）が75歳以上の後期高齢世代となる年であり、後期高齢者が総人口のおよそ20%を占めることから、医療費など社会保障費の急増が心配されている問題。

個人質問



かわ た たつ し
川田 達司

◆鳴門市の新たなまちづくりについて

問 人口減少や厳しい財政状況に直面している鳴門市の新たなまちづくりを進めるための具体的な施策について。

答 鳴門市自治基本条例の理念に基づき、市民の自発的なまちづくり活動を応援するため、We Loveなるとまちづくり活動応援補助金事業を新たに創設しました。これは、地域課題の解決に向けた公益的対象とするもので、本年度は10団体から応募があり、事業選考検討会において8団体の提案事業を採択、支援を行っています。

引き続き、採択団体との情報共有に努めるとともに、新たな公共の担い手として活動が活性化されるよう、鳴門市総合計画にあるまちづくりの基本目標や市民参画、市民協働のまちづくりを積極的に押し進めていきます。

◆大麻町の公共交通の取り組みについて

問 大麻地区の活性化を図るため、高齢者支援を含めた公共交通の再構築についてどのように取り組むのか。

答 県道鳴門池田線沿いを運行するバス路線の利便性が悪いなどの意見から、当該地域の役員会などにおいて、利便性や地域活性化を促進することから新しいコミュニティ交通の事業趣旨等について説明を行うなど、高齢者が抱える課題の解消に向け、引き続き地域の方々と協議を重ね、市民参画、市民協働により大麻町における新しい公共交通について十分に検討を進めていきます。



現在は2時間に1便程度が運行している

議員の一般質問に関する記事の原稿は、項目を選定し作成しています。

個人質問

個人質問



みづ ひろし 津 良裕

◆市民が主役のまちづくりについて

問 民有の遊休地の草刈りへの対応は。
答 近所に迷惑をかけている場合には、所有者に文書で雑草の除去を依頼しています。

問 老朽化した空き家の除去費用の助成制度を導入しては。
答 国・県の補助制度の導入を検討したいと考えています。

問 老朽化が進んでいる集会所の対策は。
答 大規模修繕等は、緊急性等、優先順位をつけて対応しています。



老朽化が進む集会所

問 旧鳥居記念博物館は様々な利用計画が出ているが。
答 現在は耐震化を行っています。今後は実施計画がまとまり次第、市民の意見を反映した詳細な利用計画を策定したいと考えています。

問 現在耐震化を行っています。今後は実施計画がまとまり次第、市民の意見を反映した詳細な利用計画を策定したいと考えています。

◆福祉行政について

問 要介護者向けの介護施設の状況は。
答 施設への入所待機者も発生しています。状況改善に向けて、第6期鳴門市高齢者保健福祉計画および介護保険事業計画に反映します。

問 地域包括支援センターの機能強化を図り、地域や関係機関と連携して、見守り体制づくりに取り組んでいます。
答 生活保護の不正受給の防止策は。
問 家庭訪問の回数を増やすなどして、受給世帯の正確な実態把握に努めています。

問 老老介護や独居老人の実態把握と対応は。
答 地域包括支援センターの機能強化を図り、地域や関係機関と連携して、見守り体制づくりに取り組んでいます。

問 生活保護の不正受給の防止策は。
答 家庭訪問の回数を増やすなどして、受給世帯の正確な実態把握に努めています。

問 生活保護による援助が必要な低所得者の把握と対応について。
答 国では地域や関係機関のネットワーク強化による訪問体制の構築を検討中で、その方針に従い対応したいと考えています。

◆教育行政について

問 学校5日制の検証と今後の存続について。
答 学校週5日制はすでに定着していますが、国では土曜授業のあり方を検討中であり、今後、国や県の動向を注視します。

問 2学期制の検証と問題点は。
答 評価期間が長く適正な評価や指導、また学びの連続性も図れますが、通知表の配布回数が増えたことを不安視する方もいるため、今後も制度の見直しなどを行い、2学期制の良さを生かした学校づくりを進めていきます。

問 瀬戸中学校と北灘中学校の統合の経緯と進め方について。
答 校舎は瀬戸中学校を活用することとなり、北灘中学校の生徒の保護者や地域住民の方々からは一定のご理解を得ました。再編にあたっては、複式学級の解消と小中一貫教育の設置を進めます。

問 職員の増員・充実を図っています。
答 職員の増員・充実を図っています。

問 職員の増員・充実を図っています。
答 職員の増員・充実を図っています。

個人質問



谷崎 たけし 徹

◆社会福祉協議会の体制について

問 大災害時の災害ボランティアセンター開設・運営を担う市社会福祉協議会の人員体制のあり方はどうか。
答 市社会福祉協議会では、災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルや防災危機管理ハンドブックを策定し、全職員による参集訓練やセンター設置訓練など、有事に備えた対応力のスキルアップに努めています。

問 職員の増員・充実を図っています。
答 職員の増員・充実を図っています。

問 職員の増員・充実を図っています。
答 職員の増員・充実を図っています。

問 職員の増員・充実を図っています。
答 職員の増員・充実を図っています。

問 職員の増員・充実を図っています。
答 職員の増員・充実を図っています。



災害ボランティアセンター合同模擬訓練

◆住宅リフォーム助成制度の実施について

問 転倒防止など介護予防にもつながる住宅の小規模リフォーム助成制度は、他市町でも実施され住民に好評である。本市でも実施すべきでないか。
答 安全・安心な住居環境の整備を図り、快適な生活を営むことができるまちづくりを推進するため、来年度からの実施に向け、本市にふさわしい制度になるよう検討していきたいと考えています。

◆北灘の学校再編について

問 北灘町における学校再編の状況と、北灘・瀬戸中学校統合後の跡地や建物の有効活用について。
答 小学校の学校再編にかかる意見交換会を重ねる中で、北灘西・東小学校両校の保護者ならびに地域住民の方からは、子どもたちのことを考えるならば再編もやむを得ないのご理解をいただいたと考えています。

問 統合後の北灘中学校の跡地や建物の活用については、地元の北灘中学校利用促進協議会とも連携を密にし、方策を検討していきたいと考えています。

問 統合後の北灘中学校の跡地や建物の活用については、地元の北灘中学校利用促進協議会とも連携を密にし、方策を検討していきたいと考えています。

問 統合後の北灘中学校の跡地や建物の活用については、地元の北灘中学校利用促進協議会とも連携を密にし、方策を検討していきたいと考えています。

ご意見BOX



鳴門市議会では、市民の皆さんが議会をより身近に感じられるような議会だよりをめざして、日々取り組んでおります。

本紙をお読みになり感じたことや疑問点などがありましたら、議会事務局までお寄せください。

* * * * *

募集内容 ① 議会だより紙面について（感想、ご要望など）
② 議会のしくみや専門用語についての疑問
応募方法、文の様式は問いませんが、300字以内とします。
また住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

注意点 ※ 住所・氏名は掲載させていただきます。
※ 投稿していただいたものは返却できません。
※ 紙面の都合で掲載できない場合がありますので、ご了承ください。

宛先 鳴門市議会事務局
〒772-8501 徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜170番地
☎(088) 684-1234 ☎(088) 684-0814
✉gikai@city.naruto.lg.jp

… 市民の皆さんのご意見をお待ちしております …



次の定例会の開催予定

平成25年第4回定例会は、11月28日から12月13日までの16日間の予定です。

11月28日(木) 第4回定例会 開会 ㊦	6日(金) 休会 総務文教委員会 ㊦
予算決算委員会(議案説明) ㊦	7日(土)、8日(日) 休会
29日(金) 休会 一般質問通告締切	9日(月) 休会 生活福祉委員会 ㊦
30日(土)~12月2日(月) 休会	10日(火) 休会 産業建設委員会 ㊦
12月3日(火) 一般質問(会派代表質問) ㊦	11日(水) 休会
4日(水) 一般質問(個人質問) ㊦	12日(木) 休会 議会運営委員会・全員協議会
議会運営委員会	13日(金) 第4回定例会 閉会 ㊦
5日(木) 一般質問(個人質問) ㊦	
予算決算委員会(質疑・採決) ㊦	

㊦:インターネットで中継・録画配信
㊦:ケーブルテレビで中継・録画放送

議会広報番組の放映予定

視聴するには…デジタル対応テレビ → 121チャンネル
アナログ対応テレビ → C23チャンネル

内容:平成25年第4回定例会の審査概要
鳴門市議会第18期議員の紹介
各常任委員会の構成委員

(※放送内容等は変更する場合がありますのでご了承ください。)

議会広報委員会

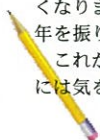
委員長:佐藤 絹子
副委員長:上田 公司

委員

秋岡 芳郎・潮崎 焜及
宅川 靖次・松浦 富子
三津 良裕・宮崎 光明

～編集を終えて～

最近めっきり日が暮れるのが早くなりました。朝も、新聞を取りに行くとき外はまだ真っ暗ですが、天気がよければ西の空に金星やオリオン座などがきれいに輝くのを見ることができ、少し得をした気分になります。年末年始の大掃除や年賀状の準備なんかで気ぜわしくなりますが、ほんの少しの間、星空を眺めながら今年を振り返ってみるのもいいかもしれませんね。これからますます寒さも厳しくなります。風邪などには気をつけてお過ごしください。



議会活動(平成25年9~11月)

9月

- 2日 全員協議会
議会広報委員会
- 3日 第3回定例会 開会
予算決算委員会
- 5日 議会運営委員会
- 9日 一般質問(~11日)
- 10日 議会運営委員会
- 11日 議員倫理調査特別委員会
- 12日 予算決算委員会(特別質疑)
- 13日 総務文教委員会
予算決算委員会第1分科会
- 16日 敬老の日のつどい
- 17日 生活福祉委員会
予算決算委員会第2分科会
- 18日 産業建設委員会
予算決算委員会第3分科会
- 20日 予算決算委員会(主査報告・採決)
- 24日 議会運営委員会
全員協議会
- 25日 第3回定例会 閉会
予算決算委員会
議会運営委員会
- 26日 滴翠クラブ9月例会(徳島市)
- 27日 市うずしお運動会
議会運営委員会
- 28日 独リユネブルク市親善使節団解団式
- 30日 徳島県市議会議長会定期総会(鳴門市)

10月

- 1日、2日 予算決算委員会(全体質疑)
- 3日 予算決算委員会各分科会(~7日)
- 8日 全国競艇主催地議会協議会正副会長会・監査会(三重/~9日)
- 10日 予算決算委員会(分科会報告・採決)
- 16日 政務活動費等検討協議会
全員協議会
- 18日 産業建設委員会
- 20日 第12回鳴門のまつり
第11回子どものまちフェスティバル
- 21日 第35回斎田地区敬老会
日立市議会(茨城)委員会視察来庁
- 22日 議会広報委員会
- 24日 滴翠クラブ10月例会
第159回瀬戸内海地区議会競艇連絡協議会臨時総会(下関)
- 26日 第46回鳴門市障がい者スポーツ・レクリエーション大会
- 30日 広域行政圏市議会協議会第62回理事会(東京)
議会広報委員会
- 31日 平成25年度競艇事業運営協議会(鳴門市)
鳴門商工会議所臨時議員総会後の懇親会

11月

- 6日 台東区議会(東京)委員会視察来庁
- 7日 浜名湖競艇企業団(静岡)視察来庁
- 8日 全国競艇主催地議会協議会会長監査会
- 10日 市長選挙・市議会議員選挙告示
- 14日 全国競艇主催地議会協議会第140回役員会・第122回臨時総会(東京)
- 17日 市長選挙・市議会議員選挙投票日
- 19日 第4回定例会日程協議
- 21日 第4回定例会招集告示
- 22日 議会運営委員会
- 26日 平成25年度鳴門市婦人連合会大運動会
優良従業員表彰式
- 27日 全国市議会議長会地方財政委員会正副委員長会議(東京)
- 28日 第4回定例会開会
予算決算委員会(決算議案採決)
- 29日 議会だより85号配布